

教育委員会の権限に属する事務の管理及び
執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書
(令和3年度事業対象)

令和5年1月

白井市教育委員会

はじめに

白井市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

この報告書は、市教育委員会が令和3年度に実施した事務事業の取り組みについて、点検及び評価を行い、事務事業の改善・見直しを進めながら効率的・効果的な教育施策の推進に資するため、とりまとめたものです。

今回の点検及び評価にあたっては、白井市教育振興基本計画-eなしプラン-（令和3年3月策定）を基に、53の取組項目について点検及び評価を行っています。

<参 考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

第1章	教育大綱	1
第2章	点検及び評価方法	2
	1 点検及び評価の対象	
	2 点検及び評価の実施体制	
	3 点検及び評価の観点	
	(参考) 白井市教育振興基本計画 体系一覧	3～4
第3章	点検及び評価結果	5～11
	教育委員会の活動状況	12

第1章 教育大綱（令和3年度～令和7年度）

【基本理念】



【基本方針】

- 1 育てます。未来を生き抜く力 【学校教育】
次世代を生きる子どもたちに、安全安心な教育環境、多様な教育活動のもとで、確かな学力、豊かな心、健やかな体を基盤とした「未来を生き抜く力」を育てます。
- 2 支えます。子どもの笑顔 【家庭教育】
学ぶ機会を提供し、地域で家庭教育を支える仕組みを作り、すべての学びの基盤となる家庭教育を支えます。
- 3 結びます。人と地域と学び 【社会教育】
市民だれもが身近で気軽に立ち寄ることができる地域の拠点を活かして、人と地域と学びの場を結びます。
- 4 応援します。みんなの学び 【生涯学習】
市民だれもが生涯を通して、スポーツ、文化、芸術、郷土の歴史等、自己を高める学習活動を応援します。

第2章 点検及び評価方法

1 点検及び評価の対象

点検及び評価については、白井市教育振興基本計画-eなしプラン-における主な取り組み53項目を対象に行っています。

2 点検及び評価の実施体制

点検及び評価の実施に当たっては、事前に担当課等が自己評価した事務事業評価シートをもとに、教育長及び教育委員4人、学識経験者3人から意見・助言をいただき、実施しています。

3 点検及び評価の観点

必要性、有効性及び効率性の観点から点検及び評価を行った上で、事業の課題などを抽出し、今後の事業の改善により期待される効果等について検討します。

7 計画の体系

基本方針Ⅰ 【学校教育】 育てます。未来を生き抜く力

方針

施策

主な取り組み

方針	施策	主な取り組み
1 確かな学力の育成	(1) 「主体的・対話的で深い学び」を進め、学力向上を図る取り組みの推進	① □□意欲を高める学びの創造プロジェクト ② ●教育課題調査研究事業（学習振り返り調査） ③ □□学校支援アドバイザー（学力）の活用
	(2) 個に応じたきめ細かな指導・支援の充実	① ★補助教員配置事業
	(3) 外国語によるコミュニケーション活動の充実	① ●A L T 配置事業
2 豊かな心の育成	(1) 「考え、議論する道徳」の授業の推進	① □□授業研究会の実施
	(2) 豊かな人間関係を育む学級づくりの推進	① ●教育課題調査研究事業（Q-U 調査）
	(3) いじめ防止対策の推進	① □□いじめ対策調査会事業
3 健やかな体の育成	(1) 体力向上を図る取り組みの推進	① □□意欲を高める体育活動の創造プロジェクト ② ●教育課題調査研究事業（新体力テスト） ③ □□学校支援アドバイザー（体育）の活用
	(2) 学校保健・学校安全の推進	① □□保健・安全教育の充実と管理の徹底
	(3) 学校給食の充実と食育の推進	① ●小中学生の栄養指導事業
4 特別支援教育の推進	(1) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	① ●特別支援教育事業
5 多様な教育的ニーズへの対応	(1) キャリア教育の充実	① ★地域人材活用事業
	(2) 不登校の児童生徒への支援の充実	① ●適応指導教室事業
	(3) 教育相談の充実	① ●教育相談事業
	(4) グローバル社会で活躍できる人材の育成	① ●青少年国際交流事業
	(5) 日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実	① ★補助教員配置事業（日本語指導）
6 学校のICT化	(1) 授業等でのICT化・オンライン化の推進	① ★教育の情報化推進事業 ② □□授業でのICT活用プロジェクト ③ □□学校支援アドバイザー（ICT）の活用
	(2) 教職員校務のICT化の推進	① □□校務支援システムの有効活用
7 読書活動の推進	(1) 学校図書館の機能の充実	① ★補助教員配置事業（読書活動推進）
8 教職員の育成	(1) 教職員研修への支援の充実	① ●教育課題調査研究事業（教職員研修）
	(2) 教職員の職場環境の整備・充実	① □□教職員の働き方改革の推進
9 特色ある学校づくり	(1) 地域との連携・協働の推進	① □□コミュニティ・スクールの調査・研究・導入
	(2) 小中連携教育の推進	① □□小中一貫教育・義務教育学校の調査・研究

方針	施策	主な取り組み
10 安全・安心な学校づくり	(1) 安全・安心な教育環境の整備・充実	① ●小中学校教育環境向上事業 ② ●小中学校施設改修等事業 ③ ●学校安全対策事業
基本方針Ⅱ 【家庭教育】 支えます。子どもの笑顔		
1 子育ての悩みへの支援	(1) 家庭教育支援体制の強化	① □家庭教育のサポーター育成
2 子育ての学びへの支援	(1) 親を応援する学習機会や情報の提供	① ●家庭教育事業
基本方針Ⅲ 【社会教育】 結びます。人と地域と学び		
1 学びの拠点づくり	(1) 地域に密着した多様な学習機会の提供	① □公民館活動の充実
2 人と地域を結ぶ学びづくり	(1) 地域交流の場の提供	① □社会教育環境の整備
基本方針Ⅳ 【生涯学習】 応援します。みんなの学び		
1 子どもの放課後の学びづくり	(1) 子どもの安心・安全な居場所づくり	① ★放課後子ども教室事業
2 生涯学習の推進	(1) 生涯を通じて学べる場の提供	① ★市民大学校事業 ② ●立春式事業
	(2) 図書館サービスの充実	① ●図書館サービス推進事業 ② ●図書館資料整備事業
	(3) 天文や宇宙の学習・理解の場の充実	① ●プラネタリウム館運営事業
3 スポーツの推進	(1) 生涯にわたるスポーツの普及・推進	① ★総合型地域スポーツクラブ支援事業 ② ●各種スポーツ大会開催事業
4 文化・芸術の振興	(1) 市民の文化芸術活動の支援	① ●文化を支える人材育成事業 ② ●市民文化祭開催事業
	(2) 文化・芸術の鑑賞機会及び発表の場の提供	① □文化会館管理運営事業 ② ●文化会館自主事業運営事業
5 歴史・文化財の保護・情報発信	(1) 文化財の保護・調査の推進	① ●文化財保護・周知事業
		② ●文化財調査事業
		③ ●埋蔵文化財・文化財記録・保護事業
		④ ●市史編さん事業
	(2) 郷土史の発信と継承	① ●郷土資料館展示・教育普及事業 ② ●市民学芸スタッフ古文書修補活動事業

第3章 点検及び評価結果

事業名等	質問・意見・提案	回答
意欲を高める学びの創造プロジェクト（P3） 教育支援課 ト1-(1)-①	白井市では、タブレットの家庭への持ち帰り事例はあったか？ あった場合、いじめに該当する事例の報告はあったか。	白井市では令和3年度の夏休みから試験的にタブレットの持ち帰りを実施し、現在、各学校で判断し家庭での活用も実施しています。 土曜日や日曜日などの学校が休みの日には、タブレットを使った課題が出されることもあります。 また、感染症の罹患等による出席停止の際の授業のオンライン配信や、急な臨時休校でのオンライン授業で活用されています。 家庭でのタブレット使用に関係したいじめの事例は数件報告されていますが、いずれも各校で指導・対応をすることができております。正しい使用方法について、引き続き指導をしております。
教育課題調査研究事業（P4） 教育支援課	指標①運動能力の割合→目標・実績・達成率の数値の見方が解らない。	千葉県体力・運動能力調査の結果を基に数値を計算しております。運動能力調査では、握力や50m走など8つの種目を実施し、各種目10点、合計80点満点で評価します。 項目別得点表は、6歳～11歳、12歳～19歳等の年代別及び男女別に設定されており、発達段階や性差が考慮された配点となります。さらに合計点はA～Eの各段階へ分けられます。市では、D（やや低い）とE（低い）に該当する児童生徒が小中学校ともに15%未満になることを目指しています。 （ア）
ト1-(1)-② ト2-(2)-①	R7まで指標①の目標に同じ数値が並んでいるが、最終目標値ということか。	令和7年の最終目標値を記載しております。
ト3-(1)-② ト8-(1)-①	<ul style="list-style-type: none"> ・4 指標の推移の%数値の意味は。その内容によっては、5 事業の評価の有効性の達成度の評価が変わるのではないか。 ・4 指標の推移の「指標の説明」が欲しい。 	指標の%数値の意味については （ア） と同様です。 千葉県体力・運動能力調査の結果がDやEに該当する児童生徒は、学校以外で運動機会が少ないことが想定されます。 学校支援アドバイザーを活用し体育の授業を充実することで、児童生徒の体力向上を図りたいと考えています。
学校支援アドバイザー（P5） 教育支援課	3人のアドバイザーが週3日で14校の指導に当たるのは時数的に忙しいと思うが現状はどうか。 もし、余裕があるのであれば、学校訪問計画以外であっても、学校・個人として来ていただき、指導を受けやすいよう空き時間が分かる標記があるとよいと思う。	学校支援アドバイザーの勤務体系はそれぞれ異なり、「学力向上」は年間35回の指導枠、「体育」「ICT」は週3日勤務です。 「学力向上」は各校2回ずつの訪問に加え、その他研修での指導を担当します。 「体育」「ICT」については、各校へ年間3回ずつの訪問に加え、各校からの要請により随時指導助言にあたっています。 そのほか、担当業務を担い、空き時間はありません。
ト1-(1)-③ ト3-(1)-③ ト6-(1)-③	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の研究指定校は、どのような観点で指定を行ったのか。 例えば、運動能力の平均が相対的に低い学校、逆に高い学校など。 ・事業内容が学力だけ。体育・ICTの内容も表記すべきではないか。 	令和3年度、令和4年度と白井第三小学校が小中学校体育連盟より研究指定を受けることとなりました。そこで、市としても白井第三小学校をバックアップすることでより充実した研究となるよう研究指定を行いました。 事業内容の表記についてですが、学力向上という意味には、主要教科のみならず、家庭・音楽・図画工作・体育などの実技教科の内容も含まれております。

※事業名等の事業名・ページ等は資料をご覧ください。

事業名等	質問・意見・提案	回答
補助教員配置事業（P6） 学校政策課 1-1-(2)-① 1-5-(5)-① 1-7-(1)-①	<p>指標②補助教員配置人数が R7まで33人。財政状況から現状維持が精一杯か。</p> <p>・重点戦略事業であり、必要性、有効性が明らかで、成果と効果が明確にも関わらず「予算の縮小が求められている」というのはどういうことか。今後ますます必要性が高まることが予測できる、むしろ拡大すべきでは。</p> <p>・補助教員の人数増を希望する。特に日本語指導、発達障がい、肢体不自由、不登校児童生徒の補助が必要と感じる。インクルーシブ教育の理念実現に向けた市としての考え方は伺っていないが、障がいのある無しに関わらず、可能な限り共に教育を受けられるように条件整備を整えるには、補助教員の拡張は必須だと思われる。</p>	<p>学校や児童生徒の個々の状況やニーズに応じて配置しているもので、計画策定時の必要な補助教員数を基本にしたものです。今後も状況に応じて配置していきたいと考えております。</p> <p>少子高齢化の進展、公共施設の老朽化等、歳出増加が見込まれる中、市の健全な財政を維持するため、全ての事業で歳出削減に取り組んでおり、本事業も例外ではないとの意であります。</p> <p>インクルーシブ教育を推進するためには、補助教員の拡充と補助教員を含めた全ての教職員がその理念を理解するとともに、施設面の充実も必要だと考えます。</p>
ALT 配置事業（P7） 教育支援課 1-1-(3)-①	<p>コスト R5 で事業費の増加を見込んでいるが、何か改善の見通しがあるのか。</p>	<p>本件は、全小中学校及び適応支援教室に外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語に触れる機会とコミュニケーション能力等の育成を図るため、業務委託から直接の指示命令や打ち合わせ等が制限なく実施できる派遣業務に改善する準備を進めています。</p> <p>（開始予定：令和5年4月1日～令和10年3月31日）</p>
いじめ対策調査会事業（P9） 学校政策課 1-2-(3)-①	<p>スタートが H28年、そこから R2年度までの間、重大事態の発生はなかったか。</p> <p>調査の内容には ICT(タブレット等端末)による「いじめの実態調査」も含まれているのか。</p>	<p>重大な案件はありましたが、どれも調査主体は学校であり、本調査会が第三者委員会として調査した事案はありません。定例会と日頃の学校の指導の成果だと考えています。</p> <p>本調査会は、全国と市内のいじめの認知件数や傾向、またそれらの経年変化などのデータをもとに、白井市のいじめ対策をより効果的なものにするための審議を行っています。</p> <p>ICT によるいじめを調査内容に含めるかどうかについては、学校が検討することとなっております。</p>
小中学校の栄養指導事業（P12） 教育支援課 1-3-(3)-①	<p>2 取組状況、改善策取組状況、その他改善項目に記載されている『残菜の減少に向けた取組』について、ここ数年の現状を伺いたい。</p> <p>また、その原因について、調査など何か対策等はされているのか。</p> <p>食育や栄養の大切さについて、子どもの時代から学ぶことはとても重要であると思う。学校だけでなく家庭とも連携し、大きな成果を上げるため、子ども達と一緒に保護者も共に現状を知り取り組めればよいと思う。</p>	<p>残菜が多くなりがちなのが副菜です。副菜の野菜の量と汁物に入る野菜の量を無理なく食べられる量として日々調整しています。残菜が多いメニューは味付け等を工夫し、次につなげます。</p> <p>配布する献立表では、吹き出して新メニューが分かるようお知らせしたり、白井市産の野菜を使っていることなどを PR しています。</p> <p>残菜の原因についての調査は、子供たちに食に関することや給食のおいしさについてのアンケートを毎年実施し、給食のおいしさ（味付け）について、また苦手な食べ物を聞いています。野菜、海藻類、キノコ類が苦手とする子供が多いです。苦手でも食べられるように献立でも工夫し、給食栄養指導の際には子供たちに体に必要な栄養だということを伝えていきます。</p> <p>「給食意見箱」を各学校に設置しており、子供たちからの給食の意見やリクエストが給食センターに届くようにしています。また、残菜を減らす取組として、各学校へアンケートを実施した結果、苦手なものも残さず食べるよう教諭が声掛けをしたり、配膳後、残った（休みの子の分など）給食はおかわりできる子が食するなどの工夫をしていることが分かりました。</p>

事業名等	質問・意見・提案	回答
小中学校の 栄養指導事 業（P12） 教育支援課 I-3-(3)-①	6 今後の方向性の改善内容等の欄で1行目後に「半残菜の減少に取り組んでいく。」とありますが、具体的にどのような取り組みか。	残菜が多いメニューは味付け等を検討し、ICTを活用して給食を作っている様子を動画で子供たちに見せたり、各学校の子供たちに給食センターを見学してもらうなど、給食がもっと身近になって食に興味がわくよう、今後も工夫していきたいです。 各学校の取組でも担任の先生方から子供たちに声を掛け、残菜を減らす取り組みをしています。
特別支援教 育事業 （P13） 教育支援課 I-4-(1)-①	ユニバーサルデザインを考えた学習環境や授業の周知・理解とは何か。 全ての職員に必要とされたものか。 特別支援学級(個別支援学級)担任に関連して、文科省通知(2022年3月31日付け)で各都道府県教委へ以下の内容の実施を促している。 新任教員は10年目までに支援学校や支援学級の経験を複数年積むようにする。これに対して千葉県ではどう対応しようとしているか、市町村教委へ情報が届いているか 学級担任については校内人事なので、行政としては把握しづらいかもしれないが、白井市の個別支援学級担任の現状を把握すること、もし課題が見えたら、市独自に早めに対応策を検討し、実施することを提案する。特別支援学級経験者を増やす施策の大枠は、行政主導でないとなかなか進まない。 幼児期の子どもの発達はとても早く就学前のみの確認見学では把握することは難しいと考えるため、負担は大きくなるが3歳児又は4歳児の確認も必要と思う。 この意見が有効と判断されるのであれば、5事業の評価の有効性の対象範囲の評価は「縮小⇒拡大」が良いと思う。	教育のユニバーサルデザイン化とは、どの子も「わかる」「できる」を促すための支援のことです。 例えば、「黒板に書かれた内容に集中できるように、教室全面や黒板の掲示物等を精選して、教室環境を整えること」や、「活動内容の見通しを持ちやすくするために、取り組みの手順に番号を付けて事前に提示すること」等を行っています。 対象が全ての児童生徒なので、全ての教職員に必要です。 市教育委員会として、全ての教員に個別支援学級担任を経験させるよう、各校へ働きかけております。
地域人材活 用事業 （P14） 教育支援課 I-5-(1)-①	指標②目標人数13人は、どのように把握し、設定したのか 教育の負担軽減のため、1事業概要の手法は「一部委託」でもよいのではないか。 地域の特性を活かした体験学習などは良い取り組みだと思う。 学校だよりや学校ホームページだと我が子の学校の取り組みしか知ることができないので他校の取り組みも知る機会があると良いと思う。 (第1小のネリカ米の取り組みは、教育委員になって初めて知った)	派遣部活数は、18部活までと要項で定められています。 毎年4月に市内小中学校14校へサポーター派遣申請を通知し、その人数が、毎年13部活であることから、13と設定しております。 サポーター派遣は、主に中学校で活用されております。 ご指摘のとおり、手法は一部委託となります。 教職員の負担軽減のため、さらに多方面でも地域人材の活用ができるよう、進めていきたいと思っております。 ご意見ありがとうございます。今後は、白井市教育委員会のホームページや地域情報サイト「しろいまっち」に掲載し、周知に努めていきます。

事業名等	質問・意見・提案	回答
教育相談事業 (P16) 教育支援課 I-5-(3)-①	取組状況の相談件数 368 件の中に、いじめ関連の相談はあったか。	いじめに関する相談は 1 件ありました。
	事業の評価(効率性)の改善点については、いつ検討するのか。	毎年 2 月に、教育相談員の 1 年間の振り返りの研修会を実施しており、それらを基に、教育支援課で事業評価を行い、改善内容についてまとめています。
	取組状況(令和 3 年度)は、相談件数は同じ案件で、複数回(日)相談があった場合、1 件とカウントされているのか。 また、相談人数の内訳(児童生徒、保護者、教員)についても、教えてほしい。 不登校が 8 割を占めている。ここ数年の推移、相談したことで登校へつながった例など成果があれば伺いたい	同じ案件でも、相談回数を重ねるケースは多くあります。来室 1 回を 1 件とカウントしております。 相談人数、児童生徒本人の相談がおよそ 220 件、保護者の相談が 180 件です。 個々のケースについての公表は個人情報の関係もあるため、控えさせていただきますが、登校へつながった、または進学へつながったケースは複数あり、成果はあったと考えます。
青少年国際交流事業 (P17) 教育支援課 I-5-(4)-①	3 コストの欄で、R6 年度計画 A 事業費計が突出している理由は。	本件は、中学生をオーストラリアメルボルンにある交流校 2 校(キャンパス市カヤブラム校・プリンバンク市キーロー校)へ派遣し、同校から生徒及び引率者を受け入れる事業です。派遣と受け入れを隔年で実施しており、令和 6 年度は、オーストラリアへ派遣する年度であるため、派遣に要する経費が増となっております。 派遣：交流校への中学生等の派遣 受入：交流校から中学生等の受入
	新型コロナウイルス関連や両国の経済事情も踏まえ ICT を活用し、オンラインによる交流を半年又は 1 年に 1 回行えたらよいと思う。	検討していきたい提案です。 ただ、オンライン交流をするにしても、しっかりした目的や計画・準備が必要になると考えます。 コロナ禍における、来年度の交流事業の内容の検討を進めていきたいです。
教育の情報化推進事業 (P18) 学校政策課 I-6-(1)-①	教員から見て、コロナ禍でオンラインの授業や研修が行われている。効果的と感じる若手教員と、苦痛を感じる教員もいると思うが、扱いきれない時や困った時は直ぐに対応してくれるのか 授業中は他のクラスの職員に頼ることができず困っている話を聞いている	小中学校 14 校に 4 人の ICT 支援員を配置しており、ICT 機器やソフトウェアの操作支援、授業と一緒に入る授業支援、教材や手順書等の作成支援など、様々な支援により対応しています。 困った時などに直ぐ対応できるよう、スケジュールの調整をしております。
	指標①の実績 86%は、どのように算出したのか	全国学力・学習状況調査の「ICT 機器を活用した授業を 1 クラス当たりどの程度行ったか。」という調査項目に『ほぼ毎日』と回答している学校の割合から算出しております。
	当市における ICT 教育は進んでおり、タブレット活用もかなり充実している。児童生徒も扱いに慣れ、チームスの活用で教員と生徒間の連絡もできている。更に、保護者も関わられるような機能を使う予定はないのだろうか。 コロナ禍でたとえ保護者であっても学校に足を運ぶ機会が激減してしまった。個人的な話になるが、中学校の授業参観もないまま卒業を迎えます(学校規模による)オンライン授業配信やリモート保護者会は難しいことなのでしょうか。 子供たちが最優先なのは当然ですが、保護者へ配慮した活用も検討いただきたい。	現在配布されているタブレット端末は、学習用の端末であるため、リモート保護者会や授業参観に代わるオンライン授業配信を行うためには、新たにアカウントや機器を整備する必要が出ると考えられますが、現在のところそれらを整備する予定はありません。
	意図と違うが教員免許取得の必須単位の「情報機器の操作」を取り入れてもらうよう(県、国)へ要請していければより質の高いものになると思う(現在文科省では選択科目指定だと思えます)。	教員免許状取得について、意見を伝える機会(アンケート等)がありましたら、他の意見と合わせて市の意見を伝えていきたいと思えます。

事業名等	質問・意見・提案	回答
教職員の働き方改革の推進 (P21) 学校政策課 I-8-(2)-①	事業の評価(効率性)の課題欄に受益者負担とあるが、受益者とは誰を指しているのか。	保護者を指しています。学校の働き方改革を踏まえ部活動の地域移行が文化庁に提言されました。これまで学校部活動は学校教育の一環として無償で提供されてきましたが地域移行後は学校活動ではなくなるので、指導者の報酬、保険料、会場使用料、用具代などについては受益者負担(家庭・保護者)が基本となることが想定されています。
	事業の評価【必要性】の評価の理由・課題に記載されている「年度当初から欠員の学校があり・・・」について、欠員の現状と代替職員が配置されない場合があることについて実態を伺いたい。実態に応じた取組を、現場である学校主導で市と協力して進めていってほしい。	令和4年9月1日現在、3校で4名の欠員となっています。本来、学級担任を外れ様々な教育事務に携わる職員が学級担任を担当したり、所有免許以外の教科を指導したりしています。 市教育委員会としては補助教員等を72名配置しておりますが、学級担任や授業をすることはできません。あくまで県費教職員をサポートする立場になります。教職員の配置は県教育委員会の所管となりますので、今後も県教育委員会と連携を密にして適正な職員の配置に努めます。
I-8-(2)-①	県の研修会にて文科省の見解や資料を拝見し全国的な課題であることは承知している。日々子どもたちのために弛まぬ努力をしてくださっている学校関係者には感謝しかない。それを踏まえ上で、シートにある有効性の達成度の表記について数字で見れば確かに「目標に近づいていない」が、教員の努力は相当なものである。「目標に近づく努力をしている」等、前向きな表記にはならないのか。人間のキャパシティを超えているのが事実、国が抜本的な改革をしなければ改善は無い	千葉県は「子供と向き合う時間を確保できている職員の割合」を令和5年度に、「勤務時間を意識して勤務できている職員の割合」を令和4年度にそれぞれ100%とすることを目標としています。県教委の調査によれば、「目標値に近い状況ではあるものの、未だ十分とは言えない状況である」と分析しています。 有効性の達成度の表記については、達成度について可視化することは難しいが、前向きな表記は可能であると考えられます。 次年度の評価では、標記の仕方を考えたいと思います。
コミュニティ・スクールの調査・研究、導入 (P22) 学校政策課 I-9-(1)-①	コミュニティ・スクールという取り組みがあることを初めて知った。地域住民や団体と連携して活動の幅が広がることを期待している。	令和7年度の導入に向けて、規則の作成や推進の組織体制づくり等、進めてまいります。先進地域の活動例なども参考に、子供、学校、地域の三者にとってよりよいコミュニティスクールになることを目指しています。
小中一貫教育・義務教育学校の調査・研究 (P23) 学校政策課 I-9-(2)-①	5事業の評価の必要性の評価の理由・課題の中の「9年間継続して同じ教員が育てることは不可能であり」は受け止めかたによって「その児童生徒を同じ教員が9年間担任をするのが望ましい」と解釈してしまうので、文章の変更が望ましいと思う。	「中学校区ごとの情報交換は、児童生徒理解の観点から必須である。教育活動には様々なアプローチがあり、校区ごとに特色も異なる。教職員の交流を深めることで、地域としての教育力が活性化される。」とします。 ご指摘ありがとうございます。
小中学校教育環境向上事業 (P24) 教育総務課 I-10-(1)-①	5、6月から30度超の暑さで、教室内は子どもの熱気で更に暑いため、学習中に時間を作り水補給しなければ集中することができないほど。エアコンのありがたさを感じる。年1回、定期清掃が大切と考える	エアコン定期清掃については、「白井市立学校空調設備運用ガイドライン」に基づき、リース品以外のは学校へこまめな点検と清掃をお願いしています。(リース品は、リース会社が実施しています。)
	eなしプラン資料P52に、令和元年8月現在で特別教室エアコン設置率32%とある。評価シートの指標①を見ると、令和5年度まで設置率目標は32%のまま。令和6年度にいきなり100%を掲げている。これは、令和6年度に集中工事を行って100%にする予定と捉えてよいか。コスト(事業費)計画と指標①を連動させるべきではないか。	現在、エアコンが必要な特別教室等については、白井市第5次総合計画後期実施計画に基づき、令和5年度に整備、令和6年度より運用するための検討を進めています。 コスト(事業費)については、R4年度は当初予算額を、R5年度以降は財政推計にある金額を入れていきます。 特別教室エアコンに係る事業費は、財政推計の中で見込んでいます。

事業名等	質問・意見・提案	回答
学校安全対策事業 (P26)	校庭など放射能計測は完全終了したのか。	<p>現在校庭の放射能検査は、公共施設48施設での年2回の定期測定（モニタリング）を市環境課で実施しており、今後も継続して実施する予定です（市内小中学校全て）。</p> <p>プールについては、教育支援課で放射線濃度測定委託料を予算計上し、実施しており、校庭同様に今後も継続予定です。</p>
教育支援課 学校政策課 I-10-(1)-③	<p>R4 だけ事業費が突出しているのはなぜか。</p> <p>七次台小学校の通学路(西白井4丁目から風間街道へ真っすぐ最短で抜けられる道)設置について、4丁目側から区間の半分は開通しているが、残り半分の設置については暗礁に乗り上げたままか。</p>	<p>令和4年度にスクールバスの試行的運行を行う予算33,110千円を計上したためです。</p> <p>西白井4丁目から風間街道に抜ける市道00-139号線の整備計画約307メートルのうち、西白井側の約152メートルは用地買収が完了し暫時的に歩道を整備しています。</p> <p>風間街道側から西白井側に向かって約65メートル部分は車道の表層アスファルト舗装を残し、それ以外の整備が終わっています。</p> <p>残る間の約83メートルについては、詳しくはお答えできませんが、平成28年から用地交渉ができない状況となっております。(残りの延長約7メートルは、未整備の法定外公共物(赤道)区間)</p>
(資料)指標の推移 (P27) 教育支援課	2豊かな心の育成 R7中学校の目標値は、現状値を鑑み、30.0%から40.0%に上方修正すべきではないか。	<p>令和7年度の目標値は、平成31年度(eなしプラン策定時)の基準値をもとにして設定された目標値です。</p> <p>見直し修正はできませんが、次回計画策定時には、目標値の見直しを検討したいと考えます。</p>
家庭教育事業 (P36) 生涯学習課 II-2-(1)-①	<p>コロナ禍でオンライン移行したことでメリットデメリットが明らかになった。</p> <p>当事者意識が薄れるため、家庭教育事業は「対面」が重要と考える。オンライン講座は手軽に視聴できるが、当事者が集って話すことに意味があり、黙って難しい話などをしても本質的な改善はない。</p> <p>子を保護育成する者が自身の意思で必要と考えて参加する、この動機だけでも十分尊い。</p> <p>この事業の対象の欄の表記に「子育て・家庭教育に興味・関心がある市民」とある。</p> <p>子を保護育成する全ての者が対象であり、興味関心がない者に重要な事業であると捉えたい。昔は地域全体で「子育て」ができていたが、現代は地域コミュニティが分断されてしまったため、家庭のことは家族で解決、もしくは相談所に行く時代になってしまった。</p> <p>子育ての困り感をネットで調べる事はあっても、相談できる人間関係のない方が多い。同じ悩みを持つ者が集う場に足を運び、その安心感の中で誰かと話ができることが重要と思われる。</p> <p>各学校単位で家庭教育事業はほぼ機能していないため、市開催は必須である。特に就学前健診での「家庭教育講演」は再開していただきたい。</p> <p>オンライン開催を活用しコロナ禍でも実施できたことはよかった。</p> <p>オンライン受講でのグループワークへの抵抗感があるとのことですが具体的にどのような意見があったのか</p>	<p>コロナ禍から会場に来たくても来られない受講希望者がいたことから、コロナ禍以降、一部の講座を除き、対面かオンラインのどちらかを選べるように配慮しています。</p> <p>また、オンラインで受講している人も疑問点があった場合は質問できるように、Zoomのチャット機能を利用したり、ブレイクアウトルームを利用しグループワークを行ったりと、できるだけ会場と同じ環境にて受講できるように配慮しています。</p> <p>アンケートで講座の内容により受講形態を選べることで、受講するきっかけになったという回答もありました。</p> <p>しかしながら、家庭教育に関する事業は、対面も重要であることは承知しておりますので、対面の重要性を理解しながら、引き続き講座の運営をしていくこととします。</p> <p>就学前健診時の家庭教育講座は、子どもが健診を受けている際の時間を活用して実施していることから、学校側のコロナ禍での対応も配慮しながら開催の調整を行っているところです。引き続き学校側と調整しながら行っていくこととします。</p> <p>「ブレイクアウトルームは緊張する。」「お金や子育ての悩みはブレイクアウトルームで見ず知らずの人に話すのはかなり抵抗がある。」「グループワークが苦手。」等の意見がありました。オンライン受講でのグループワークへの参加並びに顔出しは任意としているところですが、参加者の意見を取り入れながら、より良い実施方法を検討していきます。</p>

事業名等	質問・意見・提案	回答
立春式事業 (P41) 生涯学習課 N-2-(1)-②	2 取組状況の欄でコロナ感染拡大のため中止になり、各学校で新しい生活様式に合わせた体験活動の実施とあるが、立春式事業は中学校2年生にとってはかけがえのない体験の場になっていたと思う。事業費が0のため学校の直接経費による事業実施ということなので、是非各中学校区の地域の方による(新しい生活様式)での事業や地区の伝統・文化などを伝える事が出来る事業になればと思う。	令和4年度から、補助金から学校側の直接経費に変更となったこともあるので、引き続き立春式で行っていた内容を行っていただくよう、学校側にお願いをしていきます。
	ICTを活用しオンラインによる全校合同事業が行えると思う。	ICTの活用を踏まえ、今後の実施について関係課で検討していきます。
郷土資料館 展示・教育普及事業 (P55) 文化センター N-5-(2)-①	無理な人寄せは不要だが、指標に入館者数を掲げても良いのではないかと。	白井市教育振興基本計画における指標を定めた事業に含まれていないため空欄となっておりますが、評価シートとは別で記録(自動カウンター設置)しております。

教育委員会の活動状況（令和3年度）

教育委員会では、教育委員会議定例会及び臨時会、学校訪問や研修・視察等において、各委員がそれぞれの専門性や識見を発揮しながら、教育行政の推進のために活動しています。

教育委員会会議については、定例会を毎月1回開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。令和3年度は、定例会12回、臨時会5回の計17回開催しました。

また、市長と教育委員会とが教育の課題や重点施策について協議を行う「総合教育会議」は市長の招集により10月及び3月に開催し、「ヤングケアラー」や「スクールサミット」についての協議を行いました。

その他、学校訪問や研修会等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止または規模を縮小したため、例年に比べ、教育委員が参加できる行事などの機会が少なくなりましたが、感染対策に十分配慮し、参加しました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、教育委員会会議等において、適宜、学校や社会教育施設における感染拡大防止についての助言等を行ったほか、事務局から感染者確認の報告を受け、児童・生徒や保護者に対して適切な対応がとられているか確認を行い、安全管理に努めました。

月	教育委員会議	総合教育会議	教育委員協議会	学校訪問等	研修・視察等
R3 4	1回				<ul style="list-style-type: none"> ・印旛地区教育委員会連絡協議会総会（書面開催） ・千葉県都市教育長協議会総会
5	1回				<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県市町村教育委員会連絡協議会総会（書面開催） ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（書面開催）
6	1回				
7	2回				<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書印旛採択協議会
8	2回				
9	1回		1回	所長訪問2回	
10	1回	1回		所長訪問5回	
11	2回				<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県市町村教育委員会連絡協議会研修会（Web研修） ・市町村教育委員会オンライン協議会
12	1回				<ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会オンライン協議会
R4 1	1回				<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県市町村教育委員会連絡協議会研修会（Web研修）
2	1回				<ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会オンライン協議会
3	3回	1回			

教育委員会議における審議

開催日	議 題	傍聴数
令和3年 第4回定例会 4月6日	報告第1号 白井市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 報告第2号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	2
第5回定例会 5月11日	議案第1号 令和3年度教育費補正予算（第3号）に係る意見聴取について 議案第2号 準要保護児童・生徒の認定に係る審査について 報告第1号 白井市学校評議員の委嘱について 報告第2号 白井市文化センターのあり方検討委員会委員の任命について 報告第3号 白井市文化会館運営協議会委員の任命について 報告第4号 白井市立図書館協議会委員の委嘱について 報告第5号 令和3年度地域人材活用事業学校別計画事業及び予算配当について 報告第6号 令和3年度白井市民プールについて 報告第7号 令和3年度白井梨マラソン大会について 報告第8号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	4
第6回定例会 6月1日	議案第1号 白井市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について 議案第2号 白井市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 準要保護児童・生徒の認定に係る審査について 報告第1号 白井市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 報告第2号 令和3年度白井市教育委員会事務事業点検・評価委員の選任について 報告第3号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	8
第7回定例会 7月6日	議案第1号 準要保護児童・生徒の認定に係る審査について 報告第1号 白井市生涯学習推進委員会委員の委嘱について 報告第2号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	2
第4回臨時会 7月20日	議案第1号 令和4年度使用教科用図書の新採択について	書面 議決
第8回定例会 8月2日	議案第1号 令和3年度教育費補正予算（第5号）に係る意見聴取について 報告第1号 白井市子ども・若者育成支援協議会委員の委嘱について 報告第2号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	3
第5回臨時会 8月24日	議案第1号 白井市修学旅行等中止又は延期に係る経費補助金交付要綱の一部を改正する告示について 議案第2号 令和3年度教育費補正予算（第5号）に係る意見聴取について	
第9回定例会 9月2日	報告第1号 白井市教育支援委員会委員の委嘱について 報告第2号 白井市学校薬剤師の解嘱及び委嘱について 報告第3号 白井市スポーツ推進委員の解嘱について 報告第4号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について 報告第5号 代理処分について	1
第10回定例会 10月5日	報告第1号 白井市放課後子どもプラン推進委員会委員の委嘱について 報告第2号 令和4年度予算編成方針について 報告第3号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	6
第11回定例会 11月2日	議案第1号 令和3年度末及び令和4年度白井市小中学校職員の人事異動方針について 議案第2号 白井市民プールの指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第3号 令和3年度教育費補正予算（第7号）に係る意見聴取について 議案第4号 白井第一小学校及び白井第二小学校におけるスクールバスの導入について 報告第1号 全国学力・学習状況調査結果の公表について 報告第2号 白井市放課後子ども総合プラン行動計画の策定方針について 報告第3号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	2

開催日	議 題	傍聴数
第6回臨時会 11月19日	議案第1号 令和3年度教育費補正予算（第7号）に係る意見聴取について	2
第12回定例会 12月7日	議案第1号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書について 報告第1号 白井市スポーツ推進委員会委員の委嘱について 報告第2号 白井市立池の上小学校放課後子ども教室の新設について 報告第3号 代理処分について 報告第4号 要保護・準要保護児童生徒の認定に係る報告について	4
令和4年 第1回定例会 1月5日	報告第1号 代理処分について 報告第2号 要保護・準要保護児童生徒の認定に係る報告について	非公開
第2回定例会 2月1日	議案第1号 白井市文化財保護に関する条例及び白井市附属機関条例の一部を改正する条例の制定議案に係る意見聴取について 議案第2号 白井市修学旅行等中止又は延期に係る経費の補助に関する要綱の一部を改正する告示の制定について 議案第3号 令和3年度教育費補正予算（第12号）に係る意見聴取について 議案第4号 令和4年度教育費当初予算に係る意見聴取について 議案第5号 白井市優良児童・生徒表彰の推薦について 報告第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定に係る報告について	5
第3回定例会 3月1日	議案第1号 白井市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案第2号 白井市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について 議案第3号 白井市優良児童・生徒表彰の推薦について 報告第1号 白井市教育支援委員会の結果及び就学について 報告第2号 要保護及び準要保護児童生徒の認定に係る報告について	5
第1回臨時会 3月14日	議案第1号 契約の締結議案に係る意見聴取について 議案第2号 和解議案に係る意見聴取について 議案第3号 白井市優良児童・生徒表彰の推薦について	3
第2回臨時会 3月22日	議案第1号 白井市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第2号 白井市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について 報告第1号 「ICT活用ガイドライン」の策定について 報告第2号 令和3年度末及び令和4年度白井市小中学校職員人事異動について	1